

公衆衛生 第33巻 総目次

(1969年 第1号—第12号)

人とことば

- 追いかの公衆衛生……………藤本 薫喜…… 1(1)
公害行政を担当するにあたって…金光 克己…… 1(2)
戦争・自動車・病院全廃論……………川上 理一…… 1(3)
公害問題と青年……………永田 捷一…… 5(4)
社会精神医学の建設……………桐原 葆見…… 1(5)
随想……………石川 知福…… 1(6)
管理社会と公衆衛生……………原島 進…… 1(7)
社会保障の進め方……………八田 貞義…… 1(8)
公害問題と労働衛生……………山口 正義…… 1(9)
偶感……………大谷佐重郎…… 1(10)
偶感二題……………松村 豊…… 1(11)

グラフ

- WHOの世界的保健事業……………斎藤 勇一…… 1(4)
大阪府公害監視センター……………仁連 秀雄…… 1(8)

座談会・てい談

- 公衆衛生活動におけるコンピューターの活用
…方波見重兵衛・大久保正一・新井 宏朋
松浦 利次・橋本 正己……28(1)
地域における循環器疾患の管理をめぐる
…村上 秀親・田中 平三・土屋 真
北川和歌子・橋本 正己・山下 章……36(3)
公衆衛生とサーベイランス
…児玉 威・重松 逸造・西川 眞八…… 8(8)

主張

- 公衆衛生におけるコンピューターの用途
……………曾田 長宗…… 2(1)
公害問題その新しい考え方……………庄司 光…… 2(2)
循環器疾患管理のあり方……………佐々木直亮…… 2(3)
国際衛生……………森下 薫…… 6(4)
外因死に対する総合保健活動……………西川 眞八…… 2(5)
食品衛生対策の方向……………松井 武夫…… 2(6)
環境衛生からみた都市問題……………左合 正雄…… 2(7)
サーベイランスの世界……………曾田 長宗…… 6(8)
性教育と性病予防……………木下 正一…… 2(9)
ヘルスユニットと保健計画態勢の確立を望む
……………橋本 正己…… 2(10)

- 環境汚染とスクリーニング……………辻 達彦…… 2(11)

特集

公衆衛生分野におけるコンピューターの活用

- コンピューターで活用される公衆衛生活動の技法
……………岡田 晃, 他…… 5(1)
厚生行政への電子計算機の導入について
……………折田 貞雄, 他……12(1)
病院管理からみたコンピューター利用
……………倉田 正一……18(1)
アメリカの地域保健活動……………西 三郎……23(1)

公害問題——その新しい考え方

- 大気汚染と判定基準……………吉田 克己…… 4(2)
水俣病の経過と当面の問題点……………入鹿山且朗……10(2)
イタイイタイ病研究の経過……………石崎 有信……17(2)
新潟水銀中毒事件の反省……………北野 博一……22(2)
公害対策の国際的比較……………橋本 道夫……28(2)

循環器疾患管理

- 循環器集団検診の理論と実際
……………新井 宏朋…… 4(3)
東北地方農村における衣食住生活と循環器疾患管理
……………高橋 英次……11(3)
職場の循環器管理……………梅沢 勉……16(3)
秋田の脳卒中——大阪との対比
……………小町喜男, 他……23(3)
長期療養における家庭医の役割……………平山 朝子……28(3)
心臓病, 癌および卒中に関する 1965 年の改正
……………相磯富士雄……32(3)

国際衛生

- WHOと日本……………斎藤 勇一…… 8(4)
国際衛生を考えると
国際技術協力活動……………福島 一郎……17(4)
積極的な海外進出を……………鈴木 猛……18(4)
天くだるコレラ……………小張 一峰……19(4)
日本WHOクラブの活動……………松田 心一……21(4)
東南アジアおよび西太平洋地域の衛生事情について
……………黒子 武道……28(4)
空の検疫……………加藤 十一……33(4)
海の検疫
運輸の大型化・スピードアップに対処
……………岩田 昌一……38(4)

神戸検疫所の当面の問題と将来	大橋 六郎	41(4)
われわれの行ってきた海外医療協力	住藤 智	44(4)
外因死の予防		
都市化と交通事故	東田 敏夫, 他	4(5)
農村における事故防止	松島 松翠	11(5)
乳幼児の家庭災害	館 正知, 他	16(5)
自殺の実態	山崎 千春	21(5)
救急医療体制	岩本 正信	26(5)
食品の汚染とその対策		
魚介類の汚染	藤原喜久夫	4(6)
食品添加物について	妹尾 昇	9(6)
食品の国際的流通の実態	内部 博泰	14(6)
食品汚染からの消費者保護	猫西 一也	20(6)
牛乳類の細菌汚染とその保存性	春田三佐夫	26(6)
集団給食におけるコールドチェーン	久保謙爾, 他	29(6)
インスタント食品	俣野 景典	32(6)
環境衛生の動向		
PCO——日本の現状と方向	鈴木 猛	4(7)
新しい環境衛生の展望	石丸 隆治	9(7)
黄害の実態	古川 元	15(7)
サーベイランス		
腸チフス・パラチフスの中央管理システム	腸チフス中央調査委員会	14(8)
放射能汚染防止のサーベイランス	鈴木間左支	22(8)
公害防止のサーベイランス	仁連 秀雄	30(8)
性病		
性病予防法雑記	後藤 伍郎	6(9)
新しい性病予防のあり方	芦沢 正見	9(9)
性病予防と梅毒血清反応	岡本 昭二	13(9)
性病の実態	斎藤 誠	17(9)
性病の実態——病原性トレポネマ感染症の疫学	津上 久弥	22(9)
性病の予防と治療	小野田洋一	27(9)
地域保健計画		
社会工学の方法	鈴木 光男	4(10)
PPBSと保健活動	福島 康人	10(10)
地域保健計画におけるPERTの応用	新井 宏朋	16(10)
保健計画における地域と生活空間	華表 宏有	23(10)
アメリカの総合保健計画および		
公衆衛生サービス法の動向	西 三郎	31(10)

トピックス

大学医学部の医学教育について	吉川 春寿	4(11)
国民医療対策大綱に失望する	石垣 純二	10(11)
結核実態調査	島尾 忠男	16(11)
油症	倉恒 匡徳	22(11)
第10回社会医学研究会		
あいさつ	吉田 克己	1(12)
保健所の基本的課題をめぐって	西 三郎	2(12)
住民の保健を守る運動(1)	芦沢正見, 他	12(12)
〃 (2)	大平昌彦, 他	17(12)
〃 (3)	井上 俊	23(12)
職業病をどうして掘りおこすか	原 一郎	27(12)
今日の栄養問題	藤森 弘	28(12)
公害訴訟における法と科学	吉田 克己	29(12)
革新首長下における保健行政をめぐって	木下 安子	30(12)
伊勢湾周辺地域への産業資本の進出と労働者		
住民の衛生問題	相磯富士雄	31(12)
食品中毒の問題点	相磯富士雄	34(12)

講座・疫学

7. 疫学研究における電子計算機の応用	柳川 洋	42(1)
8. 慢性疾患の疫学調査における診断と測定	松田 寛	35(2)
9. 伝染病のサーベイランス	重松 逸造	45(3)
10. てい談・今後における疫学の課題	金光 正次, 岡田 博, 重松 逸造	38(5)

海外の医学教育

ソビエトの医学教育(1)	藤森 岳夫	48(4)
ソビエトの医学教育(2)	藤森 岳夫	32(5)
フランスの医学教育(1)	万代 敬三	35(6)
フランスの医学教育(2)	万代 敬三	21(7)
アメリカの医学教育(1)	土屋健三郎	35(8)
アメリカの医学教育(2)	土屋健三郎	31(9)
イギリスの医学教育(1)	森 亘, 他	34(10)
イギリスの医学教育(2)	北川 定謙	29(11)

研究・資料

M海水浴場の公衆衛生学的研究	松井 和夫	55(1)
北九州市およびその各区の健康度について	坂田 守, 他	46(2)
地域における循環器管理の1方法とその検討	土屋 真, 他	53(5)

食品の殺虫剤汚染による健康障害について	増田 陸郎	49(6)
スクリーニング時における各種尿検査法の検討	石館敬三, 他	53(6)
自動車排気ガス中のCOの除去について	滝沢行雄, 他	36(7)
漁民の健康に関する研究	西 正美, 他	39(7)
都市住民の“成人病”などに関する意識と行動	木根淵英雄, 他	44(7)
保健栄養剤の使用頻度とその効果に関する1考察	桑原丙午生, 他	48(7)
月経に関する研究	杉浦静子, 他	48(8)
大都市衛生行政への一提案	黒河内好彦	51(8)
これからの腸チフス対策	中川 喜幹	43(9)
京都市に発生した腸チフス多発例について	腸チフス中央調査委員会	50(9)
新しい浄化そう	岩戸 武雄	46(10)
東京都大田区立羽田旭小学校における腸チフス集団発生について	腸チフス中央調査委員会	55(10)
ビルマにおける痘瘡の流行と根絶計画の進展について(1)	黒子 武道	42(11)
腸チフス・パラチフスの管理報告	腸チフス中央調査委員会	47(11)
某離島住民における梅毒血清反応陽性率の検討	土屋 真, 他	53(11)
第2回都市医学会シンポジウム“母子と衛生”	関 闌	48(12)
腸チフス・パラチフスの管理報告	腸チフス中央調査委員会	54(12)

特別連載

米国における保健医療体系の苦悩ならびに	
医師・歯科医師・看護婦の深刻な不足とその対策	
石戸 利貞, 他	55(3), 59(4), 46(5), 44(6), 32(7), 44(8), 39(9), 39(10), 38(11)

厚生だより

牛乳の製造日の表示について	58(1)
阿賀野川水銀中毒事件	59(1)
米ぬか油中毒事件	58(2)
清掃事業の近代化	59(2)
昭和44年度公衆衛生局関係予算	59(3)
昭和44年度政府予算原案(環境衛生・	

公害対策関係)の概要	64(4)
いおう酸化物にかかわる環境基準の閣議決定	67(4)
海外医療協力	59(5)
公害にかかわる健康被害の救済に関する特別措置法案	59(6)
昭和43年結核実態調査の結果	54(7)
衛生研究所の現状	55(7)
看護婦問題	59(8)
性病予防週間にあたって	59(9)
“日本人の栄養所要量”答申について	59(10)

その他

教室めぐり

日本大学・公衆衛生学教室	白石 陽治	51(1)
北海道大学・衛生学教室	斎藤 和雄	43(2)
広島大学・公衆衛生学教室	百々 栄徳	51(3)
名古屋市立大学・衛生学教室	六鹿 鶴雄	55(4)
弘前大学・衛生学教室	佐々木直亮	43(5)
久留米大学・公衆衛生学教室	松本 久男	41(6)
東京医科大学・衛生学公衆衛生学教室	赤塚 京治	29(7)
昭和大学・衛生学教室	小池 重夫	41(8)
九州大学・衛生学教室	猿田南海雄	38(9)
三重県立大学・公衆衛生学教室	吉田 克己	43(10)
岡山大学・公衆衛生学教室	緒方 正名	35(11)

私たちの保健所

長野県・岡谷保健所	樋代 匡平	52(1)
埼玉県・草加保健所	荻野 淑郎	44(2)
宮城県・気仙沼保健所	土屋 真	52(3)
石川県・輪島保健所	西 正美, 他	56(4)
静岡県・浜松保健所	平野 多聞	44(5)
神奈川県・小田原保健所	成田 功	42(6)
福岡県・大牟田保健所	緒方 盛雄	31(7)
広島県・三次保健所	中村 照彦	42(8)
北海道・広尾保健所	厚谷 純吉	36(9)
高知県・本山保健所	中村 仁志	44(10)
奈良県・葛城保健所	相良 丈夫	36(11)

海外事情

南アフリカ共和国の医療社会福祉	菊野麟太郎	55(8)
ガーナ国の医学事情	辻 義人	54(9)
スウェーデン王立カロリン研究所社会医学部を訪れて	芦沢 正見	56(9)

特別レポート・学会印象記

第26回日本公衆衛生学会	宮沢寿一郎	38(1)
--------------	-------	-------

第 26 回日本公衆衛生学会	中川 喜幹	40(1)
第 17 回日本農村医学会	鈴木 功	41(2)
第 39 回日本衛生学会総会	石西 伸	40(6)
第 16 回国際労働衛生会議	木島 昂	28(11)
第 16 回国際労働衛生会議の意義と成果	久保田重孝	44(12)
国際労働衛生会議に出席して	前田 アヤ	46(12)
モニターレポート（北から南から）		
“婚前学級”岐阜市で開催		57(1)
第 7 回精神衛生岐阜県大会，盛大に行なわれる		57(2)
保健所職員の現任訓練		58(3)
不良便槽対策協議会設置さる		54(4)
多房住包虫症（エヒノコックス）根室市に発生		37(5)
辺地医療に地域センター病院方式		31(6)
力を入れた一般住民の結核検診		48(6)
21世紀の人づくりをめざす		14(7)
鹿児島農村医学研究会の発足		53(7)
公害Gメン，岐阜市がバックアップ体制へ		21(8)
第 13 回岐阜県公衆衛生研修会開かれる		29(8)
岐阜市に保健衛生モデル地区できる		50(8)
動く試験室		35(9)
話題多い第 16 回山口県公衆衛生学会		15(10)
浴場の利用状況調査		38(10)
SMON調査研究協議会の発足		42(10)
“婚前学級”発足して 1 年		9(11)
技術研修会での若いエネルギー		55(11)
北海道結核予防婦人団体幹部講習会を終えて		16(12)
へき地の保健衛生調査		58(12)

書 評

学校保健	箕田アサノ	17(1)
小児保健学	林 路彰	9(2)
社会衛生学	橋本 正己	42(2)
成熟期への到達	林 路彰，金子 光	31(3)
小児保健学	遠城寺宗徳	31(5)
日本の衛生害虫	橋本 正己	51(5)
地域精神衛生の理論と実際	小嶋謙四郎	19(6)
労働の衛生学	西川 溟八	8(7)
農村保健	丸山 博	13(8)
乳児期の医学	今村 栄一	33(10)
成人病の発見から管理まで（2 版）		

	清水 寛	46(11)
基礎環境衛生学	原島 進	53(12)

抄 録

大変な歓迎をうけている地域保健所	白石 陽治	37(1)
中高年齢層の人材を家庭保健の補助要員として訓練	白石 陽治	27(4)
地域医療計画のための脳卒中患者登録の可能性と評価	白石 陽治	10(5)
テンプル大学病院における総合保健計画	白石 陽治	20(5)
広域医療計画としての脳益血の登録の可能性と その価値について	白石 陽治	8(6)
総合保健計画決定への接近	白石 陽治	34(6)
公衆衛生における人材養成の危機対策	白石 陽治	58(8)

疫 学 入 門

土 屋 健 三 郎

慶大教授・衛生学

○学生・臨床医家・公衆衛生従事者のために
○疫学の全容をプラクティカルに解説

A 5，頁 242，図 40，写真 5，¥ 1,900，医学書院

<主要内容>

原因探求，医学および公衆衛生における疫学の位置づけ，臨床家と疫学，公衆衛生従事者と疫学，伝染病の流行調査・血液疾患の健康管理のために，疫学の方法手技，記載疫学・分析疫学，産業医学への疫学的アプローチ（原因物質の明らかな場合），非伝染性疾患の疫学研究の実例（癌の履歴研究を例として），原因不明の疾患に対する疫学的な考え方（胃癌を例として），疫学理解のための小演習

付録 1. 伝染性疾患の疫学に用いられる用語の定義

2. 統計数値表